

第2次米子市まちづくりビジョン 実施状況の評価(令和7年度)

<5 歴史と文化に根差したまちづくり>

資料2-5

○評価の集計

A+	A	B	C	総数
0	2	2	0	4

(参考)評価の定義	
評価	定義
A+	取組の狙いを上回る顕著な成果が得られているもの
A	計画に基づき、着実に進捗しているもの
B	目標達成に向けた途上にあり、継続的な取組やフォローを要するもの
C	進捗が大きく遅れており、改善や見直しが必要なもの

○数値目標

指標		単位	現状値(R5)	実績値					目標値(R11)
				R7	R8	R9	R10	R11	
①	米子城跡周辺の1日あたりの滞在人数	人	766	1,075					900 (R8改定)1,200
②	米子市公会堂周辺エリアの1日あたりの滞在人数	人	1,537	2,233					1,800 (R8改定)2,500
③	伯耆古代の丘エリアの1日あたりの平均滞在人数	人	58	75					100
④	南部地区・史跡エリアの1日あたりの滞在人数	人	527	663					600 (R8改定)700

○評価の詳細

まちづくりの基本方向		計画目標(主な取組)		評価					参考指標				評価理由 (主要事業等から抜粋)	今後の取組方針 (主要事業等から抜粋)
				R7	R8	R9	R10	R11	指標	単位	本年度 数値	目標値 (時期)		
5-1	米子城跡の保存・活用・整備と魅力発信	①	米子城跡保存整備事業の推進	A					米子城跡周辺の1日あたりの滞在人数	人	1,075	900 (R8改定)1,200	【保存整備事業の推進】 ・整備基本計画に基づき三の丸広場整備等の進捗を図った。 【魅力発信事業の展開】 ・米子城跡の石垣ライトアップや現地ウォークを実施し、米子城跡の魅力発信を行った。	【保存整備事業の推進】 ・三の丸広場整備をR8年度に完成させるとともに、整備基本計画を見直し、次期整備方針を決定する。 【魅力発信事業の展開】 ・米子城跡の三の丸広場が完成することから、同広場の活用を図りながら、米子城跡の魅力発信を行っていく。
		②	米子城跡の魅力発信事業の展開											
5-2	芸術文化活動の推進	①	多様性に富んだ文化芸術を鑑賞できる機会の充実と文化芸術を通じた、地域のにぎわいの創出	A					米子市公会堂周辺エリアの1日あたりの滞在人数	人	2,233	1,800 (R8改定)2,500	【収蔵作品展、社特別展覧会の企画・開催】 ・さくらももこ展をはじめ、郷土作家であり漫画本の先駆者である木山義喬「漫画四人書生」原画展、米子市児童文化センターで保有している顕微鏡が「顕微鏡遺産」に認定されたことを記念した松浦季恒展、新収蔵品展等、郷土に根差した展示を多数実施した。 【文化芸術と他分野が連携した賑わい創出】 ・公会堂市民交流事業を地ビールフェスタやマルシェ、コーヒーイベント等と同時に開催し、相乗効果により中心市街地の滞在人口を増加させ、にぎわい創出を図ることができた。	【収蔵作品展、社特別展覧会の企画・開催】 ・時代の潮流を捉えた特別企画展をはじめ、郷土作家、郷土にまつわる作品について知ってもらうため、郷土作家の企画展示を実施するとともに、ワークショップ等の参加型事業の充実を図る。 【文化芸術と他分野が連携した賑わい創出】 ・多様な分野の地域イベントと連携した事業を企画・開催し、中心市街地のにぎわい創出につなげていく。美術館においては、多言語対応として翻訳機器を導入し、インバウンドに対応する。
		②	文化芸術活動の場や発表機会等の環境づくりを通じた、文化施設の利用促進											
		③	将来のまちづくりを見据えた文化施設の改修											
5-3	淀江エリアをはじめとした歴史・地域資源の活用	①	伯耆古代の丘エリアの活性化	B					①伯耆古代の丘エリアの1日あたりの平均滞在人数 ②南部地区・史跡エリアの1日あたりの滞在人数	①人 ②人	①75 ②663	①100 ②600 (R8改定)700	【尾高城跡の利活用・整備内容検討】 ・史跡の活用として、特別公開などを実施した。また、R8年度から2ヶ年の計画で保存活用計画を策定する準備を進めている。 【伯耆古代の丘公園を中心とした周辺の再整備】 ・R7年度に公園内の高木伐採を行い、山陰自動車道側からの視認性の向上を図った。また、大型木製遊具の改修及びハス池周辺に手すりの設置を行い、安全性、利便性の向上を行った。	【尾高城跡の利活用・整備内容検討】 ・国の史跡指定地内の測量調査を実施し、保存活用計画の策定に向けて準備を行う。 【伯耆古代の丘公園を中心とした周辺の再整備】 ・引き続き公園及び周辺施設について、年次計画に基づき再整備を行い、安全で快適な公園環境の整備に努めていく。
		②	地域資源を活用したまちづくりの推進											
5-4	町家の保存・活用の推進	①	町家の保存・活用の推進	B									【城下町の町家・町並みの調査研究】 ・城下町の町家・町並みの課題を抽出するため、城下町の自治会やまちづくり団体と意見交換を実施し、城下町の町並み整備に関する都市再生整備計画を策定した。 【城下町の歴史的建造物の文化財登録と保存活用】 ・登録有形文化財制度を活用して、歴史的建造物3件が新たに国登録有形文化財に指定された。	【城下町の町家・町並みの調査研究】 ・策定した都市再生整備計画に基づき、城下町の整備を実施していく。 【城下町の歴史的建造物の文化財登録と保存活用】 ・歴史的建造物の所有者等の意向を伺いながら、文化財登録と保存活用に取り組む。